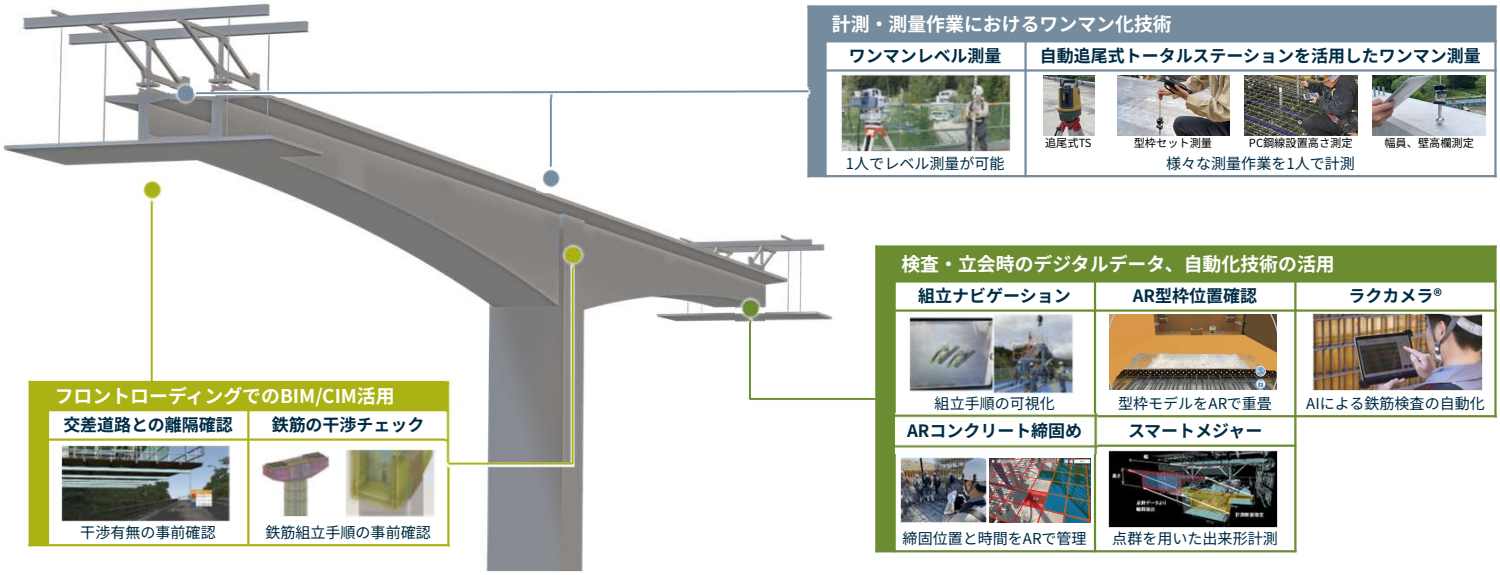
アルソシア建設

DXによる生産性1.5倍への挑戦

DX-Bridge

橋梁上部工工事に複数の自社開発DX技術を導入

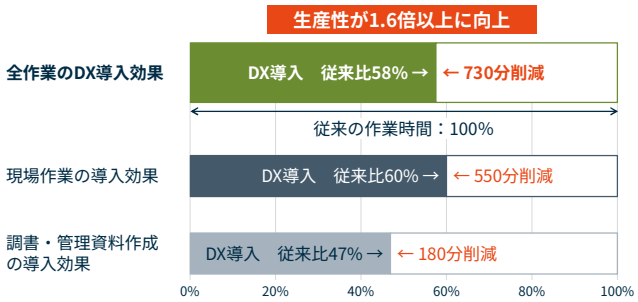
当社では、橋梁上部工工事における現場職員の生産性向上を目的に、複数の自社開発のDX技術をパッケージ化した「DX-Bridge」を導入しました。BIM/CIMをはじめとするデジタルデータや、ワンマン化技術や自動化技術を活用して、事前の検討段階から現場作業、その後の調書作成に至る一連の業務を支援します。



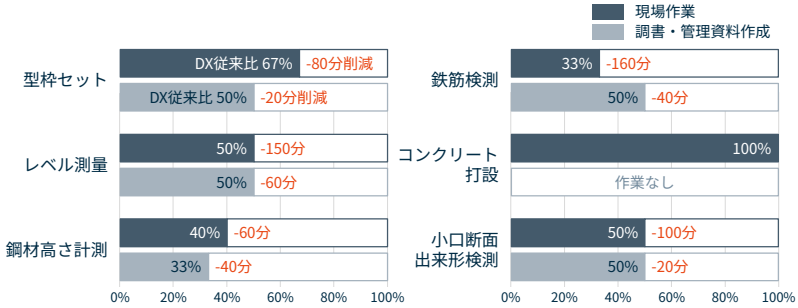
DX-Bridge取組み全体構成

職員1人当たりの生産性が1.6倍以上に向上

実際の現場で効果を検証した結果、現場作業と調書・管理資料作成に係る時間が従来と比較して約58%まで短縮し、合計で730分の削減を実現しました。生産性は約1.6倍以上に向上しており、高い導入効果があります。



DX導入効果



作業内容毎のDX導入効果

DX-Bridgeの導入先

工事名称	国道47号　中山平大橋上部工工事
発注者	国土交通省　東北地方整備局
橋梁形式	PC2径間連続ラーメン箱桁橋
橋長（支間長）	159.0m（72.0m+85.0m）
架設工法	張出架設工法、側径間吊支保工

DX-Bridgeを導入した中山平大橋